モッピーだより

2026.01.01
ふれ愛ぴっく大阪クラブ
代表　廣谷美雪

あけましておめでとうございます

皆様方には、素晴らしい新年をお迎えのことと存じます。平素は、ふれ愛ぴっく大阪クラブの活動にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

世界では長引くウクライナ戦争等各地で紛争が勃発、中国・台湾問題等不安定な世情に心痛む状況ではございますが、日本国内では初の女性総理が誕生、若者の政治への関心度も高まり、厚い雲間から僅かながらですが、一条の光が感じられる、新年の幕開けとなりました。

皆様方におかれましても健康に留意され、今後も、ブラインドベースボール(旧グランドソフトボール)競技の、素晴らしさ・感動を受けるため、体力の許す限り、当会活動に携わっていただき、益々ご活躍いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025 ふれ愛カップ春季大会開催

５月１８日、大阪府・大阪市・兵庫県（主管）の３チームが参加し、国立障害者リハビリテーションセンター(神戸市西区)で開催しました。

開会式

試合は３チームでのリーグ戦で熱戦を展開、６月１日に開催されます、近畿地区予選会優勝への弾みとなりました。

兵庫県	３	対	３	大阪市
大阪市	４	対	７	大阪府
兵庫県	４	対	２	大阪府

第２４回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会

兵庫県全国障害者スポーツ大会出場

６月１日、「第２４回全国障害者スポーツ大会近畿地区予選会」が、(一社)大阪市視覚障害者福祉協会主管で、下福島公園(大阪市福島区)で開催されました。
準決勝戦では、大阪府・大阪市のライバル対戦となり、大阪府が同点で迎えた最終回、サヨナラ勝ちで宿敵を破り、決勝戦に駒を進めた。

決勝戦は、２年連続決勝戦で敗退している大阪府と、初の近畿大会優勝、二回目の全国大会出場を目指す兵庫県の対戦、大阪府は幸先よく１点を先制しましたが、投手のコントロールミスと守備の乱れ等が重なり、相手打線も爆発・好走塁もあり、７点を返され逆転勝利を許した。

優勝した兵庫県は、１０月に開催される「第２４回全国障害者スポーツ大会　わたSHIGA輝く」へ、兵庫県で開催された大会以来、１８年振りの全国大会出場権を獲得しました。
ふれ愛ぴっく大阪クラブも、７名の審判員を派遣、前日の準備等から、大会運営に全面的に協力しました。

優勝　兵庫県チームの皆さん

一回戦	兵庫県	12	対	0	奈良県
準決勝戦	大阪市	3	対	4	大阪府
準決勝戦	京都府	0	対	7	兵庫県
決勝戦	大阪府	1	対	7	兵庫県

2025ふれ愛カップ秋季大会IN兵庫開催

開会式

９月21日、主催ふれ愛ぴっく大阪クラブ、主管兵庫県グランドソフトボールチームで、「2025ふれ愛カップ秋季大会IN兵庫」を、望海公園球場(兵庫県播磨町)において、大阪市・兵庫県・兵庫県Ｂチーム(東京・三重県から応援選手を含む)の３チームが参加して、リーグ戦３試合が行われた。

残念ながら、10月に全国大会に出場する兵庫県が２連敗、全国大会前に残念な結果となりました。

兵庫県B	8	対	1	兵庫県
兵庫県B	7	対	0	大阪市
大阪市	8	対	4	兵庫県

グランドソフトボールフェスティバル ～ HIROSHIMA ～お祭り

10月12日、主催・主管グランドソフトボールフェスティバル実行委員会(委員長小松　稔)で、「グランドソフトボールフェスティバル～HIROSHIMA ～お祭り」が、広島県立広島中央特別支援学校(広島県広島市)において、福岡県・高知県・広島県の3チーム(補強選手として広島・高知県に神奈川県の有志)が参加して、リーグ戦3試合が行われた。

この大会は、「参加団体および個人相互の友好を深めるとともに、日頃より本競技に対してご理解ご協力をいただいている皆皆様に感謝の意をこめ、グランドソフトボール競技の魅力を最大限に発揮する集まりとする」として、今回初めて企画された。

第１試合終了後、開会式が行われ、アトラクションとして、本塁→三塁(全盲)→二塁→一塁→本塁への、ボールを回すタイムが競われ、神奈川県チーム(13.23秒)が優勝、次回の参加権利と豪華商品が贈られた。

ふれ愛ぴっく大阪クラブから、6名の審判員が大会運営に協力した。

高知県	2	対	8	広島県
福岡県	5	対	1	高知県
福岡県	5	対	0	広島県

「第２４回全国障害者スポーツ大会」

福岡県実力を発揮、大会4連覇

「第２４回全国障害者スポーツ大会　わたSHIGA輝くスポ」が、１０月２５・２６日「東近江市総合運動公園」(滋賀県東近江市)で、全国地区予選会を勝ち抜いた、青森県・東京都・愛知県・兵庫県・香川県・福岡県、地元滋賀県の７チームが参加して開催されました。

近畿ブロック代表として参加した兵庫県は、愛知県と対戦、日頃の練習成果を発揮できず、0対8で残念ながら敗退した。チーム力を強化され、来年青森で開催される大会を目指すことを期待します。
優勝した福岡県は、令和4年栃木県で開催された大会から、71イニング無失点記録を更新しており、他チームを圧倒見事、大会4連覇を果たしました。
ふれ愛ぴっく大阪クラブから、5月25日に開催された「リハーサル大会」を含め、3名の審判員を派遣、大会運営に協力した。

優　勝　福岡県
準優勝　愛知県
第三位　東京

４連覇を果たした福岡県チームの皆さん

1回戦	兵庫県	0	8	愛知県
	東京都	4	1	滋賀県
	香川県	0		福岡県
準決勝戦	青森県	0	4	愛知県
	福岡県	3	0	東京都
決勝戦	福岡県	7	0	愛知県
三位決定戦	東京都	4	0	青森県

第26回全日本グランドソフトボール選手権大会

西日本選抜初優勝

この大会は、金野連盟新会長の基に、新たな試みとして、全国を3地区に分割、選手権大会への出場権をかけてラウンド(予選会)を開催、その勝者と地元代表チームで、全日本選手権を争うこととなった。
11月22・23・24日、「埼玉県障害者交流センター」(埼玉県さいたま市)で、「第26回全日本グランドソフトボール選手権大会」が、東日本選抜・中日本選抜・西日本選抜・地元代表として千葉県の4チームが参加して開催されました。
決勝戦は、西日本選抜と千葉県の対戦となり、西日本選抜が逆転サヨナラ勝ちで、初優勝を果たした。

優勝した西日本チームの皆さん

準決勝戦	東日本	3	対	7	千葉県
準決勝戦	西日本	2	対	1	中日本
決勝戦	千葉県	2	対	3	西日本
三位決定戦	東日本	1	対	3	中日本

この大会に先立ち、中日本ラウンドは、9月7日、愛知県立名古屋盲学校で開催、北信越代表長野県、近畿地区代表兵庫県、東海地区代表愛知県の3チームが参加、リーグ戦3試合が行われ、愛知県が優勝、選手権大会に駒を進めた。
ふれ愛ぴっく大阪クラブから4名の審判員を派遣、大会運営に協力した。

愛知県	６	対	１	長野県
長野県	２	対	５	兵庫県
兵庫県	５	対	７	愛知県

2025兵庫県グラソフ大会開催

支援学校、社会人チームに2連勝

１１月１６日（日）、「兵庫県グランドソフトボール大会」が、（社福）兵庫県視覚障害者福祉協会主催・(一社)神戸市視覚障害者福祉協会協賛で、「魚住みんな公園野球場(兵庫県明石市)」で開催された。

好天のもと素晴らしいグラウンドで、広島県・兵庫県・兵庫県立視覚特別支援学校チームの３チームが参加、リーグ戦３試合を行った。

全国盲学校野球大会が無くなってからも、学校の先生・生徒の皆さんが、グランドソフトボールを楽しむ大会として参加、多数の関係者の応援を受け、社会人チームに2連勝されたことに、大きな驚きと喜びを感じました。

ふれ愛ぴっく大阪クラブから、審判員5名が参加して大会運営に協力しました。

支援学校	３	対	２	広島県
兵庫県	７	対	４	広島県
支援学校	５	対	４	兵庫県

ブラインドベースボールの展望は

近年、全国的にチーム・選手が減少、都道府県単独でのチーム編成は難しくなり、実力差が明確になるなど、今、この競技にはさまざまの課題が山積している中、令和7年度から全日本連盟・金野新会長の基にスタート、令和8年から競技名を「ブラインドベースボール」、団体名を「全日本ブラインドベースボール連盟」」と改名されました。

気分一新、関係者全員でブラインドベースボールを盛り上げ、多くの人々にこの競技の魅力を認知して頂きたいと切望しております。

ふれ愛ぴっく大阪クラブも、設立目的である「グランドソフトボール競技の普及・発展に寄与する」ため、精一杯奮闘してまいりましたが、会員の高齢化・ボランティア減少等、クラブの運営が困難な状況です。

そのため、昨年11月29日に臨時総会を開催し、これまで長年春秋に開催しておりました、「ふれ愛カップ大会」を、令和8年のふれ愛カップ大会で幕を閉じることを決定し、今後は、審判グループとして活動することになりました。

本年開催します「ふれ愛カップ大会」は、これまで、この大会に参加・協力してくださった皆様方と共に、心に残るような大会に成ればと考えておりますので、どうかあと少しよろしくお願いいたします。

なお、審判員の連盟への登録は、個々の判断で行うことなりました。

ふれ愛ぴっく大阪クラブの活動は、ホームページをご覧ください!!

http://fureaiosaka.oo7.jp/